

1-1 子育て支援の充実

事業費 76億9,298万円

財源	国のお金	26億5,858万円	施策実現のための 主な事業費	子どものための教育・保育給付費	25億9,677万円
	県のお金	15億2,727万円		児童手当給付費	10億9,418万円
	市の借金	7億1,170万円		保育所整備助成事業	10億8,776万円
	その他	3億3,791万円		福祉医療費	8億9,862万円
	市のお金	24億5,752万円		その他	20億1,565万円

すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てをささえていくまちを目指します

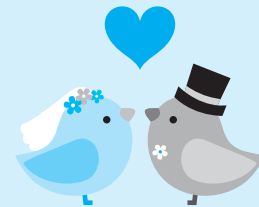
主な具体的取り組み事業

◆若者交流事業 (180万円)

独身男女の出会いの場を提供します。

◆幸せブークetos事業 (1,267万円)

結婚祝金制度と、出会いのきっかけを得やすい「友達」との繋がりを利用して、婚姻数増加へ取り組みます。



◆三世帯同居等促進住まい支援事業 (1,625万円)

子育て世帯にとって、親元等との3世代同居は、子育てをはじめ、仕事と家庭生活の両立、経済的な効率性の観点では有効な家族スタイルと考えられることから、親元等と同居や近居をしようとする子育て世帯の住宅取得等に対し支援します。

◆保育所整備助成事業 (10億8,776万円)

認定こども園土屋幼稚園・保育園、認定こども園こひつじ、2020年度に民営化する植田・睦合統合保育所(仮称)、たいゆう保育園を運営するそれぞれの法人に、施設整備のための補助を行います。また、雄物川保育園の防犯対策強化のための整備に対して補助を行います。

◆十文字地域統合小学校学童保育施設整備事業 (3,141万円) 【新規事業】

2021年4月の十文字地域統合小学校開校に合わせて、学童保育施設の整備を行います。

◆プレミアム付商品券事業 (1億5,067万円) 【新規事業】

消費税率引き上げが低所得者・子育て世帯(0歳~2歳児)の消費に与える影響を緩和するため、2019年10月から一定期間に限り使用できるプレミアム付き商品券を発行・販売します。

◆出産祝金支給事業 (1,800万円)

人口の増加と子どもたちの健全な成長を願い、6か月以上在住し出産したお母さんに、お子さん1人につき30,000円分の横手にぎわい商品券を支給します。



## 1-2 健康な心と体づくりの推進

事業費 37億7,274万円

財源	国のお金	1億2,189万円	施策実現のための 主な事業費	後期高齢者医療制度費	14億2,472万円
	県のお金	5億5,288万円		国民健康保険特別会計繰出金	8億4,648万円
	市の借金			病院事業費	7億7,957万円
	その他	1億7,430万円		予防接種事業	2億5,134万円
	市のお金	29億2,367万円		その他	4億7,063万円

市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えていることを目指します

### 主な具体的取り組み事業

#### ◆在宅当番医制運営費 (446万円)

休日（日曜日・祝日）に急な病気になった場合、横手市医師会のご協力により、休日診療（当番医制）を行います。

また、救急活動を広くお知らせするために「救急フェア救急のつどい」を開催します。（9月の下旬）



#### ◆病院群輪番制運営費 (2,815万円)

平鹿総合病院、市立横手病院、市立大森病院の3病院が共同連帯して、輪番制方式により休日・夜間等における重症救急患者の入院治療を実施する体制を確保します。

#### ◆がん検診事業 (1億4,311万円)

胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん等のがん検診事業を実施します。

今年度21歳になる方に子宮頸がん、今年度41歳になる方に乳がんの検診無料クーポン券を発送し、早期発見・早期治療を目指します。

#### ◆健康の駅推進事業 (2,242万円)

子どもから高齢者まで、みなさんが安全で効果的な健康づくりが実践できるよう支援します。

健康運動の指導のほか、健康の駅よこてトレーニングセンターの健康増進機器を一部更新します。

#### ◆後期高齢者歯科健診事業 (402万円)

今年度76歳と79歳の後期高齢者医療加入者を対象とした歯科健診を行います。

1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進 事業費 27億573万円

財源	国のお金	4,943万円	施策実現のための 主な事業費	介護保険特別会計繰出金	19億 398万円
	県のお金	2,758万円		高齢者福祉施設入所措置費	3億2,866万円
	市の借金			市営介護サービス事業特別会計繰出金	2億 385万円
	その他	1億2,646万円		日常生活支援事業	6,448万円
	市のお金	25億 226万円		その他	2億 476万円

横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆雪下ろし雪寄せ支援事業 (4,525万円)  
自力での除排雪が困難な一人暮らし高齢者等の世帯に対して業者をあっせんし、対象世帯の課税状況に応じて費用の一部を助成します。
- ◆はり、きゅう、マッサージ助成事業 (1,399万円)  
高齢者の健康の保持及び増進を図るため、市に登録した施術所で利用できる「はり・きゅう・マッサージ施術券」を年12回分交付します。



1-4 障がい者(児)福祉の充実 事業費 22億3,419万円

財源	国のお金	11億 518万円	施策実現のための 主な事業費	自立支援給付費	19億3,780万円
	県のお金	5億2,809万円		自立支援医療費給付事業	8,240万円
	市の借金			特別障がい者手当等給付事業	8,158万円
	その他	90万円		地域生活支援事業費	7,587万円
	市のお金	6億 2万円		その他	5,654万円

障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆自立支援給付費 (19億3,780万円)  
障がいのある方が必要とするサービスが利用できるよう受給決定を行います。
- ◆特別障がい者手当等給付事業 (8,158万円)  
日常生活に常時特別の介護を必要とする在宅重度障がい者(児)に対し、手当を支給します。
- ◆補装具費支給事業 (1,970万円)  
障がいのある方が、身体機能を補完するための用具(車いす・補聴器など)の支給を行います。
- ◆地域生活支援拠点整備事業 (310万円) 【新規事業】  
障がいのある方の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくりを整備し、地域全体で支えるサービス提供体制を構築します。
- ◆障がい者計画等策定事業 (285万円) 【新規事業】  
2021年度からの第6期障がい者計画策定に向けて、障がいのある方のニーズ把握と課題解決を図るため市民アンケートを行います。

### 1-5 低所得者福祉の充実

事業費 13億9,635万円

財源	国のお金	8億8,401万円	施策実現のための 主な事業費	一般扶助費	10億4,155万円
	県のお金	800万円		公営住宅整備費	1億6,126万円
	市の借金	6,980万円		公営住宅管理費	1億 724万円
	その他	1億5,503万円		生活困窮者自立促進支援事業	1,929万円
	市のお金	2億7,951万円		その他	6,701万円

市民が、住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、自立した生活を確立して、いきいきと暮らしていることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

◆公営住宅整備費 (1億6,126万円)

南朝日が丘住宅や西野団地住宅などの市営住宅の改修工事を行います。

◆公営住宅管理費 (1億724万円)

市営住宅等の良好な住環境を保つため、指定管理者と共同で、適切な維持管理を進めていきます。



西野団地住宅 (大森地区)

### 1-6 福祉を支える人材の確保と育成

事業費 1億7,189万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	社会福祉総務関係費	9,582万円
	県のお金	1,812万円		民生委員児童委員費	3,198万円
	市の借金			長寿祝金支給事業	1,451万円
	その他	42万円		敬老事業	1,053万円
	市のお金	1億5,335万円		その他	1,905万円

地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えて、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われていることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

◆民生委員児童委員費 (3,198万円)

それぞれの地域で、常に市民のみなさまの立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める民生委員・児童委員を支援します。

◆敬老事業 (1,053万円)

長年にわたり市の発展に貢献された高齢者の長寿を祝い、各地域ごとに9月の敬老月間に合わせ敬老会を開催します。

◆地域福祉計画等策定事業 (744万円) 【新規事業】

住み慣れた地域で、行政と住民が一体となって支え合う総合的な地域福祉に取り組む計画を策定します。(第3次)

2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 事業費 2億8,942万円

財源	国のお金	201万円	施策実現のための 主な事業費	学校生活サポート事業	6,627万円
	県のお金	41万円		外国語教育・国際理解教育推進事業	5,294万円
	市の借金			学校保健管理事業	4,314万円
	その他	4,341万円		奨学金貸付事業	3,408万円
	市のお金	2億4,359万円		その他	9,299万円

ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長していることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆外国語指導助手招へい事業(5,294万円)【拡充事業】

昨年度から移行期間に入った新学習指導要領では、小学校3年生から外国語を学ぶ時間(外国語活動)が導入され、5・6年生での授業時数も年間35時間から70時間に増加します。横手市の小学校では今年度から先行実施をし、来年度からの全面实施に向けて体制を整えていきます。そのため英語を母国語とする外国語指導助手(ALT)を2名増員して12名にし、小・中学校での外国語教育の充実を図っていきます。



外国語指導助手招へい事業

◆「横手を学ぶ郷土学」創設事業(352万円)

市内の小中学校において、横手を学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいすき」「横手市の文化財」を活用した郷土学習の充実や地域伝統芸能の継承と育成を推進します。



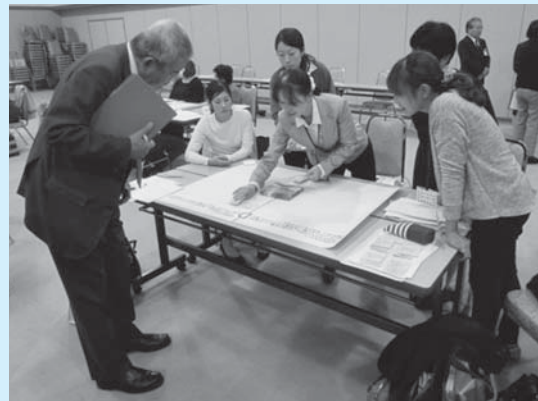
食育推進事業(横手のごっつおさん事業)

◆食育推進事業(横手のごっつおさん事業)(270万円)

市立小中学校の児童・生徒を対象にした「横手のごっつお給食」や、市内保育園児を対象にした「冬野菜を食べる会」の実施など、横手市の豊富な食材を給食として提供する取り組み等を通じ、食育の推進を図ります。

◆幼児教育推進事業(330万円)【新規事業】

教育・保育アドバイザーを配置し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続及び保育所等における教育・保育の質の向上を図ります。



幼児教育推進事業

◆中学校指導要領改訂経費(112万円)【新規事業】

今年度より中学校で「特別な教科の道徳」の授業が始まります。それに伴い、教師用教科用図書及び指導書等を購入し、より一層きめ細かな授業を行っていきます。

2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備 事業費 39億2,570万円

財源	国のお金	5億4,807万円	施策実現のための 主な事業費	小学校統合事業	11億3,117万円
	県のお金			中学校長寿命化対策事業	10億5,310万円
	市の借金	19億 330万円		学校給食事業	5億 758万円
	その他	3億5,328万円		小学校長寿命化対策事業	3億7,623万円
	市のお金	11億2,105万円		その他	8億5,762万円

児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、互いに協力し合い切磋琢磨しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆小中学校 ICT 環境整備事業 (5,001万円) 【新規事業】  
児童生徒の情報活用能力の育成、ICT を効率的に活用した「分かりやすく深まる授業」の実現のため、大型提示装置及びタブレット端末の導入を行います。
- ◆十文字地域小学校統合事業 (11億3,117万円)  
2021年4月に開校を予定している十文字小学校の建設工事(2年継続工事)を行います。
- ◆小学校長寿命化対策事業 (3億7,623万円)  
学校施設環境の改善を図るため、旭小学校の改修工事及び浅舞小学校の改修設計業務を行います。
- ◆中学校長寿命化対策事業 (10億5,310万円)  
学校施設環境の改善を図るため、増田中学校および平鹿中学校の改修工事を行います。

2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 事業費 5億1,961万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	屋外体育施設費	3億2,989万円
	県のお金	414万円		屋内体育施設費	9,681万円
	市の借金	1億7,550万円		体育施設総務費	4,383万円
	その他	6,148万円		市民スポーツ振興事業	1,097万円
	市のお金	2億7,849万円		その他	3,811万円

スポーツを通して、市民一人ひとりが心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆市民スポーツ振興事業 (1,097万円)  
各種スポーツイベントなどを支援し、市民の健康づくりや地域の活性化を目指します。
- ◆ホストタウン事業 (800万円)  
インドネシア共和国のホストタウン事業を継続して行い、同国バドミントンチームとの交流を図ります。また、オリンピックを招いたバドミントン普及活動をより一層高めます。
- ◆スポーツ合宿誘致事業 (672万円)  
大学などのスポーツチームを誘致することで、スポーツ交流のみならず、宿泊・食事・観光などを通じた地域経済の活性化を図ります。

2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進 事業費 4億7,656万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	増田まんが美術館費	1億3,747万円
	県のお金	237万円		生涯学習施設費	1億2,185万円
	市の借金			公民館費	6,900万円
	その他	1,754万円		図書館費	5,839万円
	市のお金	4億5,665万円		その他	8,985万円

多様な生涯学習の機会が提供され、市民が『いつでも』『どこでも』『だれでも』『なんでも』学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができ、また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生をより深く生きることができることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆増田まんが美術館費 (1億3,747万円)

増田まんが美術館を中心に、マンガを活用したまちづくりを事業を展開していきます。

◆秋田大学横手分校事業 (234万円)

大学が有する様々な人材や設備、能力を活用しながら、様々な学習機会の提供を行います。

2-5 よこての伝統文化の継承と再発見

事業費 2億335万円

財源	国のお金	7,547万円	施策実現のための 主な事業費	重要伝統的建造物群保存事業	8,122万円
	県のお金	3,743万円		埋蔵文化財発掘調査事業	4,311万円
	市の借金	2,130万円		後三年合戦保存活用整備事業	2,400万円
	その他	67万円		歴史まちづくり事業	2,103万円
	市のお金	6,848万円		その他	3,399万円

市民が地域の歴史や文化をよく理解し、横手に誇りを持って暮らしていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆重要伝統的建造物群保存事業 (8,122万円)

〈保存整備事業〉

保存地区内の伝統的建造物の修理を実施します。

〈防災施設等事業〉

防災計画に基づき、保存地区内における防災施設等の新設を実施します。

◆歴史的風致維持向上計画推進事業 (260万円) 【新規事業】

横手市歴史的風致維持向上協議会の開催及び歴史的風致映像作成のための取材を実施します。



歴史まちづくり事業  
(まちあるきワークショップの様子)

## 増田まんが美術館がオープンしたらどうなるの？

横手市増田まんが美術館は、世界でも初めてとなる「マンガ原画を守る」美術館として、2019年4月20日プレオープン、5月1日にグランドオープンしました。

### リニューアル後の様子



今後はリニューアルしたまんが美術館を中心に、横手市マンガ活用構想で掲げた「マンガでえがく、ひと・まち・よこて」の将来像実現のための事業を実施していきます。



### 1. マンガ原画を活用した特色ある美術館の運営

横手市増田まんが美術館は、一般財団法人横手市増田まんが美術財団で指定管理し、市と協力し合いながら、年間を通じた特別企画展を開催します。また、マンガの蔵展示室では、収集した貴重な原画のアーカイブ作業を見学できるほか、デジタルデータなども閲覧することが可能となります。

### 2. 地域と連携した賑わい・経済効果の創出

マンガを活用したまちづくりを全国に発信するとともに、誘客につなげるため、秋田空港や秋田港などにPRコーナーを設けるとともに、WEB広告などを活用しながら、国内外へ増田まんが美術館の魅力を発信します。また、増田のまちなみを会場に移動特別企画展を開催し、地域と連携した事業に取り組んでいきます。



### 3. マンガの魅力を活用したこどもの教育、豊かな学びの提供

市内の小中学校を会場に漫画家などの講師を派遣し、漫画家による移動マンガ教室を開催します。また、県内外からの教育旅行を誘致するためのパンフレット等の製作を行います。



3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 事業費 6,658万円

財源	国のお金	191万円	施策実現のための 主な事業費	交通安全施設整備費	2,206万円
	県のお金	49万円		交通指導隊経費	1,894万円
	市の借金			老朽危険空き家対策事業	1,079万円
	その他	43万円		市民相談事業	644万円
	市のお金	6,375万円		その他	835万円

事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送り、また、必要なときには専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆市民相談事業 (644万円)  
人権相談、法律相談、消費生活相談など各相談窓口を設置します。
- ◆老朽危険空き家対策事業 (1,079万円)  
老朽化し、地域に影響を及ぼす危険性を持ってしまった空き家への対策を行います。



3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全 事業費 3億6,197万円

財源	国のお金	1,384万円	施策実現のための 主な事業費	衛生センター費	1億8,679万円
	県のお金	5,439万円		斎場施設費	6,470万円
	市の借金	4,600万円		水と緑の森づくり事業	4,341万円
	その他	2,741万円		休廃止鉱山坑廃水処理事業	1,846万円
	市のお金	2億2,033万円		その他	4,861万円

水と緑と人が共生し、貴重な動植物が保全され、また、まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民のやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆水と緑の森づくり事業 (4,341万円)  
秋田県水と緑の森づくり税を活用し、広葉樹林の再生や森林公園の整備、また、野生動物の出没の抑制を図るため、緩衝帯の整備など、環境や公共的機能を発揮し続ける強く健全な森林づくりを推進します。
- ◆有害鳥獣駆除事業 (223万円)  
有害鳥獣による人身被害の防止と農作物被害の抑制のため、有害鳥獣被害対策実施隊活動を推進します。



### 3-3 災害に強いまちづくりの推進

事業費 11億3,111万円

財源	国のお金	4,565万円	施策実現のための 主な事業費	消防分署統合事業	4億1,033万円
	県のお金	2万円		常備消防施設等整備事業	2億7,680万円
	市の借金	6億5,520万円		常備消防経費	1億 942万円
	その他	603万円		消防施設整備事業	7,404万円
	市のお金	4億2,421万円		その他	2億6,052万円

消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

##### ◆消防統合分署(西)整備事業 (4億1,033万円)

防災拠点としての強化を図り、安全安心なまちづくりを推進するため、西分署(雄物川・大森大雄統合分署)の建設を行います。



##### ◆常備消防施設等整備事業 (2億7,680万円)

消防施設の充実を図るため、更新基準年数に達した救助工作車や高規格救急車等の更新を行います。



##### ◆雨水排水対策事業 (3,500万円)

浸水の常態地となっている市街地・公園等の雨水排水が適切に行われるよう対策をすすめます。

##### ◆避難行動要支援者名簿整備事業 (570万円)

災害発生に備え「避難支援が必要な方を記した名簿」と「個別の避難計画」を整備します。

##### ◆非常備消防経費 (1億5,631万円)

市民の安全安心を守る消防団員が円滑に活動できる体制を確保するため、安全装備の整備や教育訓練等を計画的に進め、地域防災力の向上を図ります。

##### ◆消防施設整備事業 (7,404万円)

災害に強いまちづくりのため、消防本部と連携して消防団の施設整備と消防用水の充実を図ります。

### 3-4 循環型社会の一層の推進

事業費 15億246万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	旧環境保全センター解体事業	5億9,112万円
	県のお金			ごみ収集費	3億9,232万円
	市の借金	5億6,150万円		クリーンプラザよこて費	3億6,416万円
	その他	2億8,747万円		最終処分場管理運営費	5,608万円
	市のお金	6億5,349万円		その他	9,878万円

市民一人一人が「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現していることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

◆旧環境保全センター解体事業 (5億9,112万円)

クリーンプラザよこての稼働により使用しなくなった旧ごみ処理施設を解体撤去します。

◆PCB廃棄物等処理費 (2,773万円)

PCB(ポリ塩化ビフェニル)を使用していた公共施設の受電用コンデンサ等を法律に従って順次処分します。

◆西部地区最終処分場長寿命化事業 (2,151万円)

西部地区最終処分場の砂ろ過塔・活性炭吸着塔設備の更新工事を行います。

### 3-5 エネルギーの地産地消の推進

事業費 267万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	地球温暖化防止対策事業	225万円
	県のお金			カーボンオフセット地球温暖化対策事業	42万円
	市の借金				
	その他				
	市のお金	267万円			

地域にある再生可能エネルギーが公共施設、個人住宅、事業所等において有効活用されていることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

◆地中熱利用設備導入促進事業 (225万円)

地球温暖化防止対策を推進するため、融雪をはじめとした地中熱を利用した設備導入への補助を行い、普及促進していきます。

◆カーボンオフセット地球温暖化対策事業 (42万円)

CO2を吸収してくれる森林を将来にわたり守り続けるため、その整備費用の一部をCO2排出側から提供を受け、同時にCO2排出削減による地球温暖化対策としてカーボンオフセットの普及を図ります。